



# 春闘の取組みや組織拡大等意思統一

## 静岡地本が代表者会議を開催

静岡地方本部は1月9日に「支部・分会・職協代表者会議」を開きました。

開催にあたり長岡委員長は「昨年を振り返ってみると自然災害や事故などもあり、皆さんも職場で奮闘なされた事と思います。また年末に行われた衆議院選挙はあのような結果とはなりました。引き続き日本の平和と民主主義を守る闘い、労働者の生活と権利を守る闘いに全力を挙げなければなりません。本日は支部・分会・職協代表者会議を行いその後引き続き静岡地本組織拡大統一行動対策会議



「代表者会議」で議論する参加者

場所を労政会館に移して旗開きという少しハードなスケジュールになりますが、実のある議論交流を行いたい」とあいさつしました。

その後、東海本部木村業務部長より2015調査活動についての提起を受け意見交換を行いました。

意見として出されたのは、「運転時分が短く問題のある行路がある。ダイヤ改正時の交渉で改善を求めていきたい」、「列車遅れによる接続要請について、会社が接続要請をする列車、しなくていい列車を明示すべき」、「三大要求について話もしない管理者がいる。交渉の経緯と違うのではないか」等が出されました。

これに対して、渡辺静岡業務部長から「事例を調査・検討の上、問題がある部分が有れば静岡地方本部で静岡支社に申入れを行う」とのまとめがありました。



旗開きであいさつする長岡委員長

続いての組織拡大統一行動対策会議では植田書記長から、静岡地本の現状と国労本部の考えや各支部・各分会の取組み等について提起があり、静岡独自の交流会の模索や、OBも含めた声掛けを行って、集まる場、連絡体制を作って行こうと提起がありました。

参加者からは職場での取組み等が報告をされました。そして組織強化・拡大に静岡地本全体で取り組む事を意思統一しました。旗開きではOBや地域共闘の方々、JAL争議団など大勢が参加し和気あいあいとした中で開催されました。

開催に先立って長岡委員長があいさつを行い、各来賓からのあいさつや豪華な賞品が当たるビンゴゲームなどを行い、また1年みんなで団結をして奮闘する決意を固め合った旗開きとなりました。

# 1日も早く職場へ戻そう 「文化のつどい」に700人

JAL不当解雇撤回闘争

2014年12月23日

「JAL不当解雇を撤回させ争議の1日も早い勝利をめざす文化のつどい」が大田区民センターで開かれ、700人が参加しました。

「つどい」では、国際連帯友情演奏、バイオリンとピアノの演奏等、文化の集いにふさわしい内容となりました。とくに構成舞台は、一人のキャビンアテンダントの人生を通して、JAL不当解雇撤回裁判原告団の闘いの物語。会社の言うままに第2組合に入ったものの、現実には恐るべき組合敵視の会社姿勢を知る。その一方で、空の安全と働く者の権利を掲げて果敢に闘



「翼に憲法を」と題した構成劇の場面

う先輩たちに出会い、その先輩たちが所属するキャビンクルーユニオンへと加入を決心する。今では当たり前の60歳定年制だが、30歳定年制や結婚

退職の時代に、会社と交渉し時にはスト権を立てながら労働条件を向上させてきた。そして、あの御巣鷹山の航空事故。会社の「安全より利益」の方針の下で一番大事な「安全な飛行」を疎かにした代償はあまりにも大きいものがありました。そしてこの舞台を通して、JALの不当解雇の本質は、労働者の権利と安全運航を守るために闘う労働組合への攻撃だと知ることができたのです。経験豊かなパイロットと客室乗務員を、1日も早く職場へ戻す闘いの支援を私たちが今後も続けていくことが求められています。

## 入院、地震、火災、交通事故…一度も経験しない人はいない。

自分の身に起こってからでは遅いのが災害です。何事も備えあれば憂いなし。あなたや家族の幸せを自然災害や人災から守るために、しっかり組み合わせて幅広く保障します。



家族の幸せを災害から守る 火災共済/地震風水害共済/交通災害共済/生命共済/入院共済